

回顧（みかえり）の滝

この地域の有名な景勝地のひとつ、回顧の滝は、抱返り溪谷の崖面を階段状に流れ落ちる落差 30 メートルの滝です。散策路の入り口から 30 分歩くと、トンネルの少し先にある滝に到達します。回顧の滝を見ると、「みかえり」という名前の日本語の意味が理解できます。訪れた人は、来た道を引き返す際、振り返って最後に板のように流れる水をもう一目見ずにはいられません。

岩を流れ落ちる水の中に、着物を着た女性の優雅な形が見えるという人もいますが、ここを訪れる人はそれぞれ自分なりの解釈を見つけることをおすすめします。

回顧（みかえり）の滝も、周囲の木々の状態に応じて、季節ごとに異なる表情を見せます。溪谷が赤、橙、黄色に燃える秋は、抱返り溪谷を散策し、滝を訪れるのに特に人気のある季節です。春と夏には、緑の谷を背景にした滝の景色が見事です。冬の間は、滝への道の最後の部分は雪のため閉鎖されます。